

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	発育性股関節形成不全のエコー診断を補助する三次元画像解析技術の開発
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2000 年以降に新潟大学医歯学総合病院で臼蓋形成不全、外傷などの治療のため骨盤股関節のCT,MRI を撮影した患者	
③概要	
<p>乳児の発育性股関節形成不全(Development Dysplasia of the Hip: DDH) は稀でない先天的形成不全で、早期発見・早期治療により手術等の侵襲的治療を防ぐことができるため健診が義務化されています。しかし運動器が専門でない保健師や小児科医による評価が一般的であることから、発見が遅れてしまう患者さんの増加傾向が報告されています。超音波検査(以下、エコー)でもDDHは診断可能で、非侵襲で簡便ですが、技術難度が高く一般に普及されていません。この問題を解決するために、画像技術開発の研究を行い、エコー検診の一般化、DDHの診断遅延を無くすことを目指します。</p> <p>赤ちゃんから研究のための画像を取得することは困難なので、成人の股関節などの病気の患者さんの画像を縮小して赤ちゃんのモデルを作成することで研究を行います。そのために成人整形外科疾患の治療、診療のために撮影した股関節がうつっている画像を二次的に利用させていただきます。</p>	
④申請番号	2023-0055
⑤研究の目的・意義	発育性股関節形成不全という赤ちゃんの股関節の病気の早期発見のためのエコーによる画像技術開発を行います
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	データは匿名化された状態で提供されており、個人が特定できない状態で利用します 今後も匿名化された状態でデータ分析に用いられます 研究期間で情報が個人が特定できるような状態に戻されることはありません 研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません
⑧利用または提供する情報の項目	利用されるデータにはCT、MRIの画像情報です
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 フレイル予防のための運動器科学講座 古賀寛 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 村上玲子 整形外科学分野 谷藤理、望月友晴

	新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科
⑩試料・情報の管理について 責任を有する者	本学：新潟大学大学院医歯学総合研究科フレイル予防のための運動 器科学講座 古賀寛
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科フレイル予防のための運動 器科学講座 氏名：古賀寛 Tel：025-227-2272 E-mail：hiroshi-koga@med.niigata-u.ac.jp